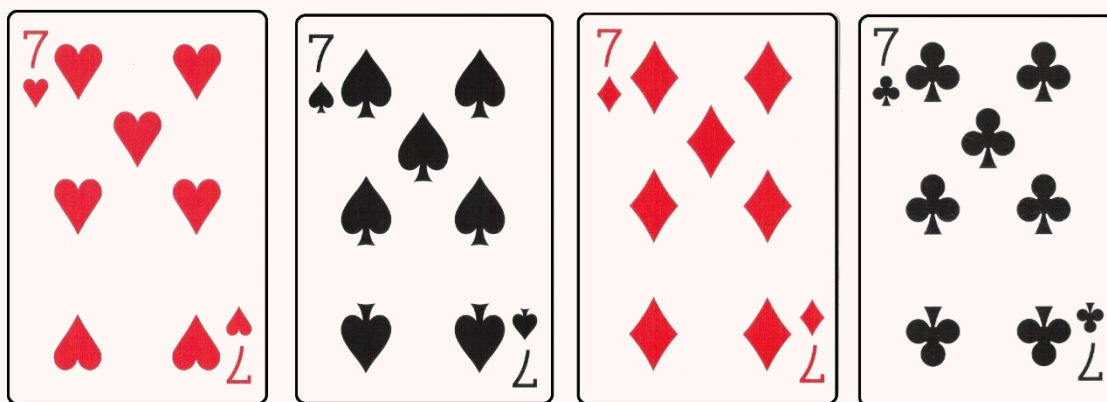


## かんたん 簡単なマジック

だれ かんたん  
誰でも簡単にできるマジックを紹介（しょうかい）します。マジックは、「てじな  
てじな  
手品」ともいいます。パーティーなどでてじな  
てじな  
手品をして、まわりのひと  
ひと  
の人をびっくりさせましょう。

このてじな  
てじな  
手品では、トランプの「7」のカードをまいつか  
まいつか  
4枚使います。まずはじめに、この  
まい  
まい  
4枚のカードをテーブルの上（うへ）に並（なら）べて、「ここに、ハートの7、スペードの7、  
ダイヤの7、クラブの7があります。」とい（い）います。このとき（とき）の並（なら）べ方が大切（たいせつ）です。

「7」のカードをよくみ（み）てください。た（た）と（と）え（え）ば「ハートの7」のカードは、ハート  
ハート  
が  
ひだりがわ  
ひだりがわ  
左側（みぎ）に3つ、右側（みぎ）に3つ並（なら）んでいます。そして、カードのま（ま）なか（なか）より少し上（すこ）に  
すこ  
上（うへ）に  
ハート  
ハート  
♥ が1つあります。他（ほか）のカードも同（おな）じよう（よう）に、ま（ま）なか（なか）より少し上（すこ）に  
すこ  
上（うへ）に  
マークが1  
つあります。このマークのい（い）ち（ち）をそろえて、した（した）え（え）のよう（よう）にカードを並（なら）べます。



そして。この4枚のカードを裏返してシャッフルします。裏返したまま、「好きなカードを1枚とってください。私にはそのカードを見せないでください。そのカードのマークを覚えてください。」と言います。相手は、カードをとって、マークを覚えます。



Sasaki Akino

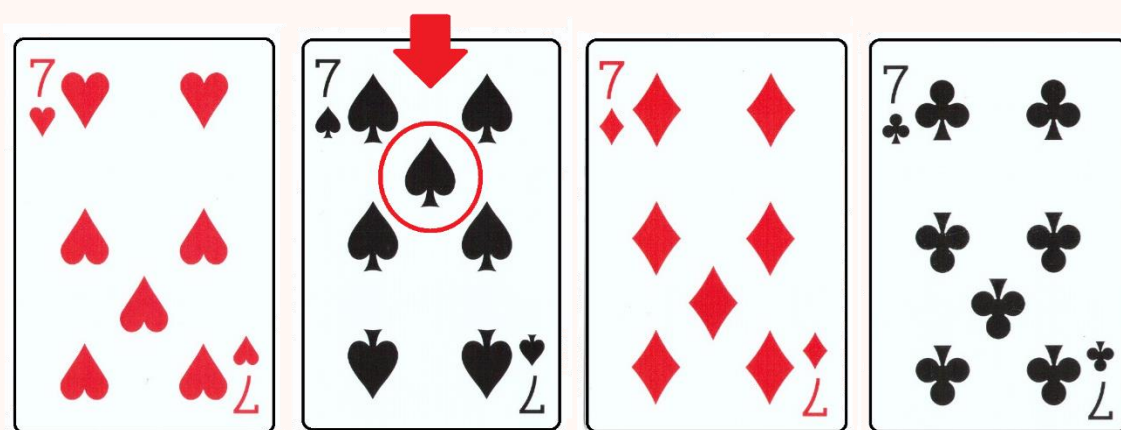
ここがポイントです。相手がカードを見ている間に、3枚のカードの向きを変えます。



Sasaki Aino

そして「カードを裏返したまま、戻してください。」と言って、カードを戻してもらってから、4枚のカードをよくシャッフルします。それから、4枚のカードをテーブルの上に並べます。例えば、相手がスペードの7を選んだ場合について

考えてみましょう。下の絵のスペードの7を見てください。カードの真ん中より少し上に ♠ のマークが1つあります。他の3枚はどうでしょうか。3枚のカードは、向きを変えたので、真ん中より少し下にマークがあります。



「あなたが選んだのは、このカードですね。」と言いながら、スペードの7を指さします。きっと相手は「どうしてわかったの？」と、不思議に思うでしょう。相手は「タネを教えてください」と言うかもしれません。「手品のタネ」というのは、手品で相手をびっくりさせるための秘密の方法のことです。この手品のタネは「カードの向きを変えたこと」です。「タネを教えてください」と言われたら、にっこり笑って「タネも仕掛けもありません。」と言ってみましょう。プロのマジシャン（手品師）も、よく言う言葉です。

(919<sup>上</sup>字)

(2021.7 Written by Junko SATO)

(All pictures are drawn by Akino SASAKI)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.